

2020年11月13日

各位

株式会社島忠

「株式会社ニトリホールディングスとの経営統合に関するお知らせ」

当社は、本日開催した取締役会で、株式会社ニトリホールディングス（以下、「ニトリ」）と経営統合することを前提に、TOBに賛同することといたしました。

当社は2020年10月2日付でDCMホールディングス株式会社（以下「DCM」）との経営統合を公表しておりましたが、2020年10月29日にニトリより「経営統合に関する意向表明書」を受領したため、取締役会として改めて当社の企業価値向上のあり方について検討を進めて参りました。

具体的には、当社経営陣及び特別委員会は、ニトリ経営陣とも直接に面談を重ねるなど、短期間ではありましたが、濃密な協議と検討を重ね、経営統合による具体的なシナジーをどのように創出していくか、懸念点をどのように解消していくかなどについて、最大限の検討を重ねました。そのような検討を踏まえ、当社取締役会は、11月13日、ニトリと経営統合をすることこそが、中長期的に当社の企業価値ひいては当社のステークホルダーの皆様の利益を向上させる最善の道であると決断いたしました。

当社は、これからニトリグループの経営に参画する形でニトリグループに加わることにより、創業以来培ってまいりました「お客さまに『特別な日常』をお届けするために、満足・驚き・笑顔があふれるお店づくり」をさらに推し進め、もって、当社の企業価値ひいてはすべてのステークホルダーの皆様の最善の利益を実現してまいります。当社のすべてのステークホルダーの皆様には変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【本件の背景について】

当社取締役会は、ニトリからの提案を受けて、今般の一連の取引に際して当社が定めた枠組みの中で、あらためて、当社の企業価値の向上のあり方や株主や従業員その他のステークホルダーの利益に与える影響について検討を進めました。

10月2日付けでお知らせしたDCMとの経営統合においては、両社がホームセンター分野で取り扱う商品が重複していることから、DCMのPB商品の活用などを通じた利益率の拡大などにより、シナジーを早期に実現することが可能であると判断しておりました。

他方、ニトリは、ホームセンター事業を主に営んできたわけではないため、ホームセンター分野のPB商品などを多数取り揃えているわけではありませんが、「製造物流IT小売業」という独自のビジネスモデルの中で培われた様々な機能・ノウハウを有しています。この機能・ノウハウを、ニトリとの経営統



合を通じて、当社において活用していくことにより、これまで当社が独自では成しえなかった企業価値の向上を実現し、中長期的には、当社をより大きく成長させることができると判断するに至りました。

【今後の事業について】

現在の経営方針・事業戦略の踏襲を基本としながら、当社が築き上げてきたホームセンター事業および付加価値の高い中・高価格帯の家具事業において、ニトリの保有する PB 商品の開発ノウハウや物流網を含む全国規模のネットワークを当社でも活用してまいります。また、当社はホームセンター商品と中・高価格帯の家具を取り扱うことから、自社 PB 家具を中心に品揃えをしているニトリとの補完性も高いと考えています。

つまり、ニトリとの経営統合で、これまでと比べてより幅広い選択肢を当社のお客さまへご提供することが可能となります。今後ともこれまで同様、より一層のご愛顧を賜れますと幸甚に存じます。

なお、本件の詳細につきましては、2020年11月13日付当社プレスリリース「株式会社ニトリホールディングスによる当社株式に対する公開買付けに関する意見表明及び同社との間の経営統合契約の締結に関するお知らせ」をご参照下さい。

株式会社島忠
代表取締役社長
岡野恭明

今後の見通し

経営統合は、公開買付けという手法で当社の株式をニトリが株主から広く買い集めることにより行われ、今後のスケジュールは下記の通りとなります。2021年1月から2021年3月頃を目途に、当社はニトリの完全子会社となり、ニトリグループの一員となる予定です。

- 本件の対外公表日 2020年11月13日
- 公開買付けの開始日 2020年11月16日
- 公開買付けの終了 2020年12月28日

ニトリによる当社完全子会社化 2021年1月から2021年3月（予定）

以 上